

タンクからの油流出事故にご注意を

例年冬季になると、ご家庭のホームタンクから灯油が漏れ出し、河川などに流出する事故が多発します。その原因は、うっかりミスや設備の老朽化によるものです。給油するときは目を離さず、バルブを開けた場合はバルブの閉め忘れに注意しましょう。また、タンクや配管などの定期点検に努めましょう。

■問／環境課 ☎573-2557

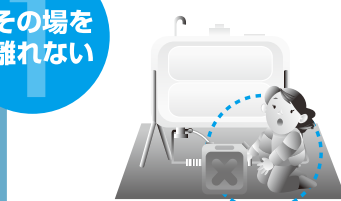
予防課 ☎534-9103

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局
(福島河川国道事務所) ☎546-4331

ご家庭のホームタンクは大丈夫？

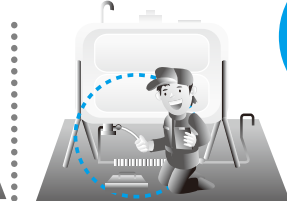
流出事故を防ぐための4つの心掛け

1 その場を離れない



小分けにするときは最後までその場を離れないようにしましょう。
地震・台風・落雪による破損や転倒が無いよう固定しましょう。

2 定期点検を怠らない

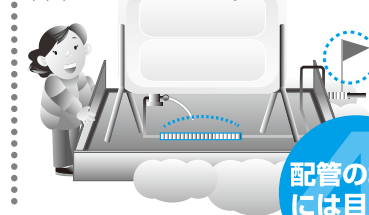


配管やタンクの定期点検、周辺の安全管理に努めましょう。
除雪による配管破損の防止のため目印を立てましょう。

3 転倒に注意して



4 配管の場所には目印を



被害を最小限にしましょう！

油流出事故を発見したらすぐに右記のいずれかに、ご連絡をお願いします。

草枝類のごみを処分するときは

【家庭から出たもの】

家庭の庭などから出た草枝類のごみは、よく乾燥させてから、可燃ごみの日に集積所へ出してください。ただし、量が多い場合は、クリーンセンターへ自己搬入してください。

【事業活動により出たもの】

会社や店舗など事業活動で出た草枝類のごみは、クリーンセンターへ自己搬入(有料)するか、一般廃棄物収集運搬許可業者に運搬を依頼してください。集積所には出せません。
※枝木は、長さ60cm以内に切り揃え、直径30cm以内に束ねてください。(枝木一本の直径は10cm以内)

■問／ごみ減量推進課 ☎525-3744

【営農者の皆さまへ】

果樹園や畑などから営農活動によって生じた草枝類は、破砕して農地に還元するか、事業活動で出たごみとして右記により適正に処分してください。

なお、農作物が病害虫による被害を受け、被害拡大を防ぐ手段が、園地で草枝類を焼却する以外ないなどのやむを得ない場合は、周辺の生活環境などに十分に配慮の上、火事と誤認されないよう、事前に消防署へ届け出てから行ってください。焼却がやむを得ない病害虫かは、左記までお問い合わせください。

■問／農業振興課 ☎525-7720

野焼きは法律で禁止されています！

野外でごみを焼却する野焼きは、煙や悪臭、ダイオキシンが発生するなど、私たちの生活環境に悪影響を及ぼすため、原則、法律で禁止されています。「やっている人がいるから」、「少しだけだから」、「迷惑する人はいないから」などの理由で行わないようにしましょう。

■問／廃棄物対策課 ☎529-5266

不適切なごみの焼却

ドラム缶などでの焼却や穴を掘っての焼却など、基準を満たしていない焼却炉での焼却は禁止されています。
ごみの焼却が迷惑だと感じたら、廃棄物対策課(☎529-5266)までご連絡ください。
※土日・祝日の連絡は市役所(代表)☎535-1111

野焼きの例外(一部)

- ・キャンプファイヤー
- ・どんと焼きやお焚き上げ
- ・凍霜害防止のための燃焼材としての焼却(廃タイヤの焼却は認められていません。)

※周辺の生活環境などに悪影響を及ぼす場合は、上記例外であっても行わないでください。

ごみ収集時の火災事故防止にご協力ください！

不燃ごみの中にはルールを守らずに捨てると、ごみ収集車の火災の原因になるごみが含まれています。ルールを守って正しく捨てましょう！

■問／ごみ減量推進課 ☎525-3744



▲令和3年2月に発生したごみ収集車の火災事故

スプレー缶・カセットボンベの捨て方

中身を使い切り、風通しのよい屋外で、必ず2力以上穴を開けてから、「不燃ごみ」の日にごみ集積所へ。

※ガス抜きスプレーやガス抜きキャップなどの専用器具を使用してください。

※中身が残っているものや未使用のもので空にできないものは、商品に表示されているメーカーにお問い合わせください。

※カセットボンベの処理について、ご不明な点があれば、一般社団法人日本ガス石油機器工業会「カセットボンベお客様センター」(☎0120-114-999)

6)へお問い合わせください。



石油ストーブ、ファンヒーターの捨て方

灯油を抜いて電池を外して「不燃ごみ」として出してください。(一辺の長さが60cm以上のものや重さが10kg以上のものは粗大ごみです。)

ライターの捨て方

＜ガスの抜き方＞



- ①周囲に火の気のないことを確認する。
- ②操作レバーを押して下げて着火したら吹き消す。
- ③輪ゴムやガムテープなどで、押し下げたままのレバーを固定する。
- ④「シュー」という音が聞こえれば、ガスが抜けている。
- ⑤この状態のまま、風通しのよい屋外に半日から1日放置する。
- ⑥確認のために着火操作をする。火が着かなければ、ガス抜き完了。

※参考：一般社団法人日本喫煙具協会

URL: <http://www.jsaca.or.jp/>

乾電池(アルカリ・マンガン円筒形)の捨て方

家電品から取り外して、出してください。
なお、ボタン形・ニカド・ニッケル水素・リチウムイオン電池は収集していません。処分する際は、販売店などの回収を行っている店舗にご確認ください。

ノロウイルスによる食中毒にご注意ください！

ノロウイルスによる食中毒は、冬から春にかけて多く発生します。これからの季節は特に注意しましょう。

■問／保健所衛生課 ☎597-6358

感染経路と主な症状は？

ノロウイルスは、少量でも手指や食品などを介して口から感染し、下痢、嘔吐、吐き気、腹痛などを引き起こします。

主な原因食品は？

加熱不十分な二枚貝(カキなど)が有名ですが、最近ではノロウイルスに感染した人が作った料理を食べた感染が広がるケースも少なくありません。

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

- ①調理する人の体調管理
下痢や腹痛など、ノロウイルスを疑う症状がある時には、調理を控えましょう。
- ②作業前などの手洗い
調理前後、食事前、トイレの後などには、石けんでよく手を洗いましょう。
- ③調理器具の消毒
洗剤で十分に洗浄し、熱湯や塩素系漂白剤で消毒しましょう。
- ④加熱調理
ノロウイルスは熱に強いので、85℃90℃で90秒間以上加熱しましょう。



防災と災害情報メールマガジンをご利用ください

災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。

●問／危機管理室 ☎525-3793



万一災害が発生した場合、市では、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。●問／危機管理室 ☎525-3793